

リンドウ「ふくしまみやび」に対する 肥効調節型肥料の利用による施肥改善

福島県農業総合センター 会津地域研究所

1 部門名

野菜花き - リンドウ - 施肥

2 担当者

大竹真紀・鈴木宏和

3 要旨

リンドウ「ふくしまみやび」を対象に、肥効調節型肥料の利用による年1回施肥技術について検討した。

- (1) 肥料の溶出パターンの異なる、肥効調節型肥料・後半型区(エムコートL40 + エムコートS60H = 5:5)、肥効調節型肥料・平準型区(エムコートL30 + エムコートS60H = 6:4)、追肥区(リンドウ専用S826 + 粒状ジャンプ = 6:4)を設定した(図1)。
- (2) 2年生の生育は、草丈では平準型 > 追肥 > 後半型、側枝数では追肥 > 平準型 > 後半型の順であった(表1)。
- (3) 開花時の規格別本数をみると、後半型では80cm以上の長さのものが減少する傾向が認められ、平準型と追肥はほぼ同等であった(図2)。
- (4) 以上のことから、前半から溶出量が増加するタイプの肥効調節型肥料を利用することにより、1回施肥で追肥と同等の施肥効果が期待できる。

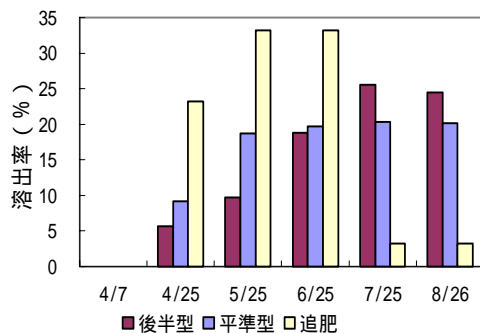


図1 期間(月)別窒素溶出率(2008年)

表1 2年生株の生育

区	草丈65cm以上花段3段以上				総茎立数 (本/株)
	草丈 (cm)	花段数 (段)	側枝数 (本)	茎数 (本/株)	
後半型	85.3	5.4	3.6	10.8	15.6
平準型	88.1	5.6	4.2	10.7	15.2
追肥	86.5	5.5	4.7	10.9	13.8

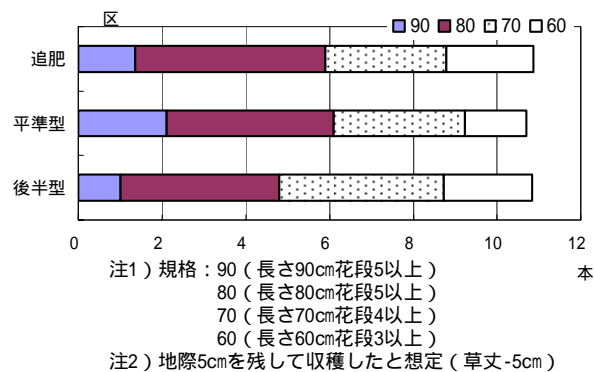


図2 開花時の規格別茎数(1株あたり)

4 主な参考文献・資料

- (1) 平成19、20年度福島県農業総合センター試験成績概要(2007 2008)